

■事業の必要性

私たちの日々の暮らしの中からは、し尿や浄化槽、下水道の汚泥が排出されます。しかし現在の中津川市には、それらを十分に処理できる設備がなく、市外で処理することを余儀なくされています。また、昭和42年より操業している中津川衛生センターは、老朽化が進み早急な建て替えが必要です。

これらのことは、全市民の快適な生活環境を守るために、早急に解決しなければならない重要課題です。

1. 汚泥の市外処理の現状と衛生センターの老朽化

※金額は平成19年度実績

下水道汚泥

市内に乾燥施設がなく、多治見市など市外での処理に多額の費用。

年間8,500万円

し尿等汚泥

市内に処理施設がなく、京都府など市外での処理に多額の費用。

年間2,400万円

衛生センター

施設の耐用年数を大幅に超え、老朽化により維持修理費が増大。

年間2,300万円

2. 環境先進都市の実現

環境先進都市を目指す市の責務として、市内での汚泥処理へ転換し、コストのムダを省き、環境負荷も少ない新衛生センター建設、ミックス事業を実現しなければなりません。

■事業の内容

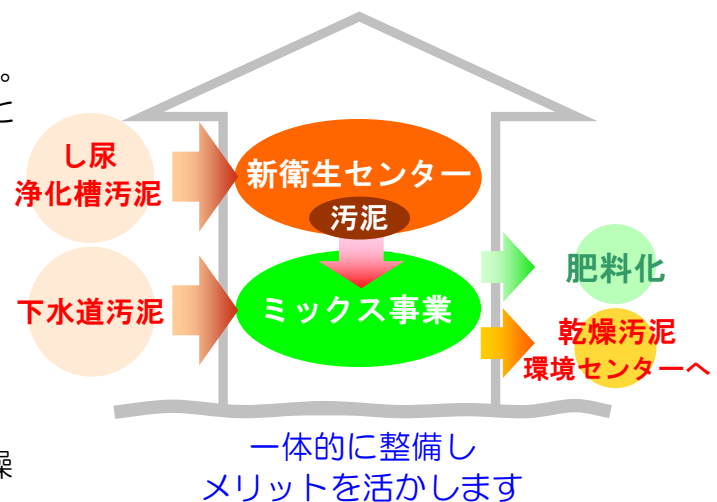
この事業は、下水道汚泥とし尿等汚泥を乾燥する2つの施設(汚泥乾燥機等)を一体的に整備し、新衛生センターもあわせ1つの建物で建設する事業です。これらにより、通常よりも有利な補助金を活用し、ムダなコストの削減と市内処理の実現など効率化を図ることができます。

1. 新衛生センター建設事業

- 老朽化した中津川衛生センターを、最新の環境対策設備を取り入れて新設する事業です。
- 新衛生センターは、市内全域から出るし尿と浄化槽汚泥をきれいに浄化する施設です。

2. ミックス事業(汚水処理施設共同整備事業)

- 市内の下水処理場と新衛生センターから出る汚泥の乾燥施設を整備する事業です。
- 新衛生センターから出る汚泥は、汚泥乾燥機(裏図⑤)で乾燥し、リサイクル肥料(裏図⑥)として資源化します。
- 下水道汚泥は、汚泥乾燥機(裏図⑦)で乾燥し、環境センターで焼却(裏図⑧)します。

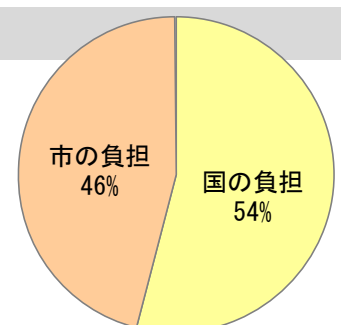


■概算事業費

事業名・施設名	概算事業費	国の負担額 ※1	市の負担額 ※2
新衛生センター	24億円	10.5億円	13.5億円
ミックス事業	20億円	13.2億円	6.8億円
計	44億円	23.7億円	20.3億円

※1 国の負担額 = 「国庫補助」 + 「地方交付税措置分」

※2 市の負担額 = 「合併特例債等の起債償還分」 + 「一般財源」



■事業スケジュール

当初は平成23年度供用開始の計画でしたが、現在は平成24年度を目指しています。計画は大幅に遅れているため、早急に事業をすすめる必要があります。

- 平成21年度 環境現況調査、環境影響評価
- 平成22年度 新衛生センターの都市計画決定、変更事業認可申請、工事着手
- 平成24年度 工事完了、供用開始

■建設場所の選定までの経緯

技術的専門機関監修の計画設計要領に基づき、33ヶ所の候補地の中から1ヶ所を、厳正・公正に選定しました。

候補地の選定区域を設定

33ヶ所 実現性を重視した検討

6ヶ所 コスト面を重視した検討

苗木浄化センターに隣接する市有地が最適地

【評価採点の結果（24点満点）】

苗木浄化センター隣接地	23点
他の上位5ヶ所	12点～17点



■環境への配慮

1. 生活環境影響調査を実施

- 環境現況調査を2回（夏、冬）実施し、臭気、騒音、振動等の現状を把握します。
- 調査結果により、完成後の予測評価を行い、環境対策を行います。

2. 臭気対策

- 設備全体を建物で覆い（裏図⑨）、二重扉を設置（裏図①）し、臭気は外へ出しません。
- 建物内や各設備からの臭気は、すべて吸引し（裏図③）、活性炭吸着など最新の脱臭設備で処理（裏図④）します。

3. 水質対策

- 汚水は、生物処理をはじめ最先端の膜分離設備（※）など（裏図②）により浄化し、河川へ流します。（※極微細なフィルターのようなものです。）

4. 周辺の整備

- 建物周囲に植樹し、周辺との調和を図ります。

■市民の皆さまへのお願い

全市民の快適な生活環境を守るために、一刻も早く新衛生センター建設とミックス事業が推進できるよう、ご理解ご協力をお願いします。

臭いは外に出しません
環境現況調査を実施します
環境影響評価を実施します
二重扉を設置します
脱臭設備を設置します

- ムダなコストを削減し皆様の税金を大切に活用します。
- 近隣住民にとって迷惑となるような施設は建設しません。
- 資源循環を促進し環境にやさしい中津川をめざします。

問い合わせ先 水道部下水道課 0573-66-1111（内線520）

